

たちばな学び館だより

2023年3月号 発行：たちばな学び館・高崎地域生活課

毎月第3日曜日は、「家庭の日」です。

ご家族お揃いで読書はいかがですか。



所在地

〒889-4592

都城市高崎町大牟田 1150 番地 1

電話とファックス 0986-45-8181

たちばな学び館は、小さな図書館です。

たちばな学び館は、高崎総合支所 2階にあります。

どなたでもお気軽にご利用いただける図書室です。

土曜日・日曜日は、東側の警備員室前出入口をご利用ください。

【休館日】

毎週月曜日、祝日、12月29日～1月3日、6月1日～6月15日



【開館時間】

午前9時30分～午後1時、午後2時～午後5時
(午後1時～午後2時は閉館です。)

【館外貸出】

一度に3冊まで、うち新刊1冊(未返却含む)、
期間は2週間です。

宮崎県立図書館・都城市立図書館の蔵書も、借りたり返したりできます。気軽に声をかけてくださいね。



新刊案内

●2023年 本屋大賞/ミネート作品●

- ・川のほとりに立つ者は/寺地 はるな
- ・君のクイズ/小川 哲
- ・宙ごはん/町田 そのこ
- ・月の立つ林で/青山 美智子
- ・汝、星のごとく/凧良 ゆう
- ・方舟/夕木 春央
- ・真相をお話しします/結城 真一郎
- ・爆弾/呉 勝浩
- ・光のところにいてね/一穂 ミチ
- ・ラブカは静かに弓を持つ/安壇 美緒



裏面へ続く

新刊案内

第168回 芥川賞受賞作

『この世の喜びよ』 井戸川 射子／講談社

幼い娘たちとよく一緒に過ごしたショッピングセンター。喪服売り場で働く“あなた”は、フードコートで常連の少女と知り合い…。

表題作など全3編を収録した小説集。



『荒地の家族』 佐藤 厚志／新潮社

人が住み、出ていく。生まれ、死んでいく。

あの災厄から10年余り。生活も仕事道具も攫(さら)われ、

妻を喪(うしな)った男はその地を彷徨(さまよ)い続けた。仙台在住の書店員作家が、止むことのない渴(かわ)きと痛みを描く。

第168回 直木賞受賞作

『地図と拳』 小川 哲／集英社

日本からの密偵に帯同し、通訳として満洲に渡った細川。ロシアの鉄道網拡大のために派遣された神父クラスニコフ。

叔父にだまされ不毛の土地へと移住した孫悟空。地図に描かれた存在しない島を探し、海を渡った須野…。奉天の東にある〈李家鎮〉へと呼び寄せられた男たち。「燃える土」をめぐり、殺戮の半世紀を生きる。



『しろがねの葉』 千早 茜／新潮社

戦国末期、採掘最盛期を迎える石見銀山。

天才山師・喜兵衛に拾われた少女ウメは、銀山の知識と鉱脈のありかを授けられ、女だてらに坑道で働き…。渦巻く欲望と死に抗って生きる女の生涯を描く。



★こども向け★



- ・『ゆめぎんこう おじいちゃんのおともだち』 コンドウ アキ
- ・『ノラネコぐんだん うみのたび』 工藤 ノリコ
- ・『かいけつゾロリ きょうりゅうママをすくえ!』 原 ゆたか
- ・『おすしが ふくを かいにきた』 田中 達也
- ・『テーマパークのサバイバル』 科学漫画サバイバルシリーズ

他にも、いろいろな本をたくさん揃えています!
ぜひ遊びにきてくださいね☆

